

社会資本メンテナンス戦略小委員会（H24～：第1～3期）における検討経緯

- 平成25年を「社会資本メンテナンス元年」と位置付け、様々な取組を進めてきたところであるが、的確な維持管理に向けて体制や予算等の見通しを持つことが出来ず、社会資本の管理責任を果たせなくなるおそれのある市町村も未だ多いと想定される。
- 委員会設置・笹子トンネル事故から今年で10年を迎えるに当たり、現在の施策の進捗状況等を把握し、これまでの取組のレビューを行うとともに、今後の取組の方向性について検討・とりまとめを行う。

＜小委員会におけるこれまでの主な検討事項＞

第1期（平成24年7月～平成25年12月※）

- ・システマチックなメンテナンスサイクル
～点検、評価、設計、修繕～の構築

※平成24年12月 笹子トンネル事故 **社整審・交政審名で答申**



第2期（平成26年3月～平成27年2月）

- ・民間資格の登録制度の創設
- ・市町村支援（共同処理、代行制度、財政措置等）
- ・情報の「把握・蓄積」、「見える化」、「共有」

技術部会名で提言



平成29年9月26日 第21回技術部会
社会資本メンテナンス戦略小委員会（第3期）キックオフ

第3期（平成29年12月～）

- ・将来の維持管理・更新費の推計、
点検1巡目終了による要対策施設数の総量把握
→事後保全から予防保全への転換
- ・新技術や民間活力の活用（WGを設置し議論）
- ・大規模更新時代への備え（河川機械設備で先行して議論）
- ・これまでの10年間の取組を踏まえたレビューとレビューを踏まえた提言（案）について



＜第3期における検討経緯＞

メンテ小委①②③

- H29.12.22
 - H30. 3.28
 - H30. 6.22
- ・スケジュール、進め方
 - ・地方公共団体アンケートの報告、施策の詳細レビュー（メンテナンスサイクルの着実な実施）等



- H30.10.22
 - H31. 1.23
- メンテ小委④⑤
 - ・将来の維持管理・更新費の推計 等



- H31. 3.19
 - R 2. 6.26
 - R 2.10.19
- メンテ小委⑥⑦⑧
 - ・民間活力活用促進WG・新技術導入促進WGを設置
 - ・取り組むべき項目と当面の進め方について中間とりまとめ



・WGにおける検討(R2.2月～)

- R 3.12. 1
 - R 4. 4.18
- メンテ小委⑨⑩
 - ・笹子トンネル事故から10年目に向けた取組レビュー開始
 - ・民間活力、新技術WGにおける検討状況の中間報告
 - ・とりまとめに向けた骨子案 等



- R4.6.16
 - R4.9. 8
- メンテ小委⑪⑫
 - ・10年間の取組レビューを踏まえた提言（案）とりまとめ

技術部会名で提言予定

提言とりまとめに向けた今後のスケジュールについて



令和2年10月 (第26回小委員会(第3期第8回)) インフラメンテナンスにおける取り組むべき項目と当面の進め方(中間報告)
〔 (1)メンテナンスサイクルの確立 (2)施設の集約・再編等 (3)多様な契約方法の導入
(4)技術の継承・育成 (5)新技術の活用 (6)データの活用 (7)国民の理解と協力 〕

令和3年12月 (第27回小委員会(第3期第9回)) これまでの取組レビュー(取組の効果、課題の抽出)



<令和4年>

4月18日 (第28回小委員会(第3期第10回)) 提言書骨子案についてのご議論

6月16日 (第29回小委員会(第3期第11回)) 提言書本文原案についてのご議論



パブリックコメント(7月13日~7月27日)

9月8日 (第30回小委員会(第3期第12回)) 提言書(案)についてのご議論



本日

11月1日 (技術部会) 提言書本文(案) 審議 / 最終とりまとめ



提言書の公表

12月 笹子トンネル事故から10年

※この他、三重県鈴鹿市、茨城県桜川市におけるメンテナンス現場の視察を実施